

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第1回 武蔵村山市長期総合計画後期基本計画市民懇談会
開 催 日 時	平成26年 4月21日（月） 午後7時から8時50分まで
開 催 場 所	武蔵村山市役所 301会議室（市役所3階）
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：委員（13名） 猪股委員・高附委員・山崎委員・眞崎委員・細井委員 有吉委員・杉森委員・山田委員・原野委員・原田(妙)委員・ 澤田委員・原田(裕)委員・齊藤委員 欠席者：なし
議 題 等	1 委員委嘱書の交付 2 市長挨拶 3 委員自己紹介 4 事務局紹介 5 報告 （1）武蔵村山市長期総合計画後期基本計画市民懇談会設置要綱について 6 議題 （1）座長・副座長の選任について （2）武蔵村山市長期総合計画後期基本計画市民懇談会に関する運営要領（案）について （3）市民懇談会のスケジュールと検討内容について （4）その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	1 委員委嘱書の交付 2 市長挨拶 3 委員自己紹介 4 事務局紹介 5 報告 （1）武蔵村山市長期総合計画後期基本計画市民懇談会設置要綱について 6 議題 （1）座長・副座長の選任について ・座長は、澤田委員、副座長は、有吉委員に決定する。 （2）武蔵村山市長期総合計画後期基本計画市民懇談会に関する運営要領（案）について ・「武蔵村山市長期総合計画後期基本計画市民懇談会に関する運営要領（案）」のとおり決定し、会議の取扱いについては「武蔵村山市長期総合計画後期基本計画市民懇談会に関する運営要領」に基づいて行うものとする。 ・会議録は要旨とする。 （3）市民懇談会での検討内容とスケジュールについて ・次回アンケート資料には、回答数やサンプル数等を提示する。 ・財政についても、資料として提示する。 ・今回の市民懇談会では、部会は設置せず、全員で1つの会議として開催する。 （4）その他 ・次回の開催日について 第2回 5月21日(水) 午後7時から2時間以内 第3回 6月26日(木) 午後7時から2時間以内

審 議 経 過
(主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)

- 1 委員委嘱書の交付
市長より各委員に委嘱書の交付を行った。
- 2 市長挨拶
- 3 委員自己紹介
- 4 事務局紹介
- 5 報告
(1) 武蔵村山市長期総合計画後期基本計画市民懇談会設置要綱について
(事務局) 資料1「武蔵村山市長期総合計画後期基本計画市民懇談会設置要綱」について説明
- 6 議題
(1) 座長・副座長の選任について
(事務局) 座長・副座長の選任については、設置要綱第5条第1項の規定により委員の互選で決定することになっている旨を説明。特に、立候補、推薦がないため、座長には澤田委員、副座長には有吉委員を事務局より推薦する。
(委 員) 異議なし
<結 論>
 - ・座長は、澤田委員、副座長は、有吉委員に決定する。
(2) 武蔵村山市長期総合計画後期基本計画市民懇談会に関する運営要領(案)について
(事務局) 資料3「武蔵村山市長期総合計画後期基本計画市民懇談会に関する運営要領(案)」について説明
(座 長) 会議録は、次回の会議に提出して、内容を確認してから公表するようになるのか。
(事務局) そのような形を考えている。
(委 員) 傍聴できると書いてあるが、開催予定はわかるが、傍聴できることを市民へ周知しているのか。
(事務局) 市報では、原稿締切りが早いので掲載できないが、公開している会議については、ホームページ等には開催予定を掲載している。その中で、傍聴できるかどうかを確認できるようになっている。
(委 員) 前期基本計画市民懇談会では、傍聴者はいたのか。
(事務局) 前回も会議時間は夜だったが、数名の方が傍聴されていた。
<結 論>
 - ・会議録については要旨とする。
 - ・会議の取扱いについては、「武蔵村山市長期総合計画市民懇談会に関する運営要領」に基づいて行うものとする。
(3) 市民懇談会での検討内容とスケジュール
(事務局) 資料4「市民懇談会での検討内容とスケジュール」について説明
—質疑・意見等—
(座 長) この長期総合計画とはどのようなものなのかを説明しないとわからないため、説明してほしい。
(事務局) 前回の長期総合計画前期基本計画の概要を説明
(委 員) これから色々な意見を聞いて後期基本計画を作っていく。または、前期計画を修正していくという理解で良いのか。
(事務局) そのような理解でよいと思う。
(委 員) まだ、終わっていないので難しいと思うが、前期の進捗状況等は、どうなっているのか教えてほしい。また、10年間の計画なので10年間の財政状況の裏付けが無いと絵に描いたもちにな

	<p>る、分かる範囲で教えてほしい。</p> <p>(座 長) 今後この会議を進めるに当たっては、委員からの質問に対して、現在の状況を説明できる資料を提出してほしいと言う要望に対して、事務局やコンサルで対応していくということだと思う。</p> <p>(事務局) 財政の関係では、第四次長期総合計画の冊子の P217 に 5 年間の財政フレームを載せ、財政的な裏付けとなっている。</p> <p>(事務局) 今、配布した A 3 の資料について説明する。この資料は、第 2 回の会議のテーマに沿った進捗状況等や意識調査の資料となっており、次回の議論の参考にしていただきたい。(補足をコンサルが説明)</p> <p>(委 員) 意識調査の回答率(30%台)が少ないのが気掛かりだが、定住率が高いのには安心した。武蔵村山市には、他市には無い独特のよさがあり、よく陸の孤島と言われていたが、今後は時代が変わってよくなるのだと思う。</p> <p>(座 長) 今日は初回なので、何か疑問があったら何でも良いので意見をいただきたい。</p> <p>(委 員) 財政の話があったが、財政の義務的な経費は一般財源の何%ぐらいあるのか、また、それらの動きがどうなっているのか教えてほしい。</p> <p>(座 長) 財政については、現在行われている施策に対してどのくらいの予算で行っているのか等大変重要なことである。全体の財政フレームはあるが、個々の財政については、次回の懇談会までにあれば良い。</p> <p>(事務局) 数値的な資料は、今はないが、義務的な経費としては、人件費、扶助費、公債費の 3 つであるが、財政の指標も重要な要素であるので資料として提出する。</p> <p>(委 員) 将来の人口が 7 8, 0 0 0 人とあるが、現在の市役所を建設した当時の将来人口は 1 1 0, 0 0 0 人だったが、現在も達していない。計画をつくるのは大変難しいと思う。</p> <p>(座 長) 需要と供給の関係であるが、市は、土地利用と人口の関係により深く関わってくる。また、行政の市政や開発のポテンシャルの問題等が関わってくるため、非常に難しい問題である。</p> <p>(委 員) 1 0 年後を想定して、税の収入を計画しているが人口等が伸びなければ財源が減少していくのではないかと心配であり、マイナス的な要素の中で見直しを図る事になるのは残念であるが、そういう時代になるのかと思う。それに代わるまちづくりが必要ではないか。その中で、住んで良かった武蔵村山市は、最初に述べた「心豊かな」というのは従来の価値観とは違った新たな価値観が必要と感じている。</p> <p>(座 長) 市の現場を知っているので、現場からの意見として分かる範囲でアドバイスができたと思う。また、人口問題や市政の考え方によって、どのような性格のまちづくりを行っていくのかが非常に重要と考える。人口の問題であるが、現在は 7 2, 0 0 0 人とほぼ合っている。モノレールが完成すれば、すぐ人口は増加する。農業では、生産性が求められ、よく地産地消と言われているが、例えば学校給食への食材へ反映されているのか等があり、どうすれば良いのかを検討していく場と考えている。なかなか反映されていないと言う意見もあるが、懇談会なので、自由な意見をお願いしたい。場合によっては、異なる意見の両論併記となることもあると思う。</p>
--	--

(委員) 座長の話の中で、学校給食の話があったが、学校給食で地元の農産物を使っている率は多摩地区で武蔵村山市がトップとなっている。理由は自校方式ではなくセンター方式であることと人口が多摩地区の中では比較的少ないことから率が高くなっている。また、小松菜は100%武蔵村山産である。

(委員) 市としてどのような方向性でまちづくりを行っていくのかわからない。

(座長) 基本構想を見ていくと何となくわかってくるが、まちづくりの基本は、道路づくりであると思う。人が住みやすいのは調和のとれたまちづくりと考える。近年、武蔵村山市では、道路率が上がってきている。

(委員) 新聞に、2100年には日本の人口が5000万人まで減少すると書いてあった。

(座長) 多摩地区の人口が増加しているのは、武蔵村山市を含め3・4市が増加している。

(委員) 現在は出入の激しい時期なので月により、増減を繰り返している。

(事務局) 村山団地の建て替えの影響により、人口が減少しているが、団地地区を除く他の地区では、増加の傾向にある。団地は最終的に5,260戸に戻す計画となっている。また、北側の土地の活用等や他の開発等の進捗により人口が増加してくると予想される。

(委員) 話を聞いて安心したが、都の西側では人口減が始まっていると聞いている。

(委員) 村山団地の人口減は、一時的なものだと聞いているが、居住権を次世代に継承できないため、若い人が入れないから出て行ってしまふ。

(委員) 武蔵村山では、子ども3人が平均だったが、今年の4月ぐらいからは減ってきているとの情報がある。新しい計画があって人口が増えるのは良い事だと思う。反面、学校間の問題として児童・生徒数の増減に対応できるような取組が必要になると思う。

(委員) 進め方について、前は2つの部会で議論を行い審議会に上げて、市長に提言したとあったが、今回の進め方は、全員で検討していくのか。

(事務局) 前期基本計画では、2つの部会に分けて討論してもらい最後に報告していく方法で進めてきた。しかし、欠席される方がいると2・3名程度となり議論ができない等の意見があったため、今回は皆さんで意見交換ができればと言う考え方で、進めていければと思います。

(委員) 前は議論が足りなかったような気がする。施策は、総合的に関係してくるので、村山らしいまちづくりを他の政策等総合的に判断できる会議が良いと思う。

(委員) A3のアンケートについて回収率は載っているが、回答数やサンプル数について、次回以降提示してほしい。

(事務局) 数字等はわかっているので、次回以降提示する。

<結論>

- ・次回アンケート資料には、回答数やサンプル数等を提示する。
- ・財政について、資料として提示する。
- ・今回の市民懇談会は全員で1つの会議として開催する。

	<p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回の日程について <p>資料5「次回の市民懇談会開催日時」について (事務局) 座長や副座長が都合が良い日を選んで開催したい。 (座 長) 1回の会議は午後7時から2時間以内とし、作業の関係から、1か月後の19日の週と考えるがどうか。 (座 長) 第2回 5月21日の水曜日、第3回 6月26日の木曜日とする。</p> <p style="text-align: right;">(終了)</p>
--	--

会議の公開・ 非公開の別	<p><input checked="" type="checkbox"/>公開 傍聴者：__0__人</p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="font-size: 2em;">()</p>
-----------------	---

会議録の開示・ 非開示の別	<p><input checked="" type="checkbox"/>開示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示 (根拠法令等：)</p> <p><input type="checkbox"/>非開示 (根拠法令等：)</p>
------------------	---

庶務担当課	企画財務部 企画政策課 (内線：372)
-------	----------------------

(日本工業規格A列4番)